

慶應義塾大学外国語教育研究センター講演会

カッセル大学教授 Karin Aguado氏講演

「Chunks as central components in the acquisition of foreign and second languages ～外国語習得におけるチャンクの 重要性について～」

講演言語：英語です。

講演内容：大規模コーパスの実証的研究の結果、母語による発話行為の大部分は自動化され記憶に基づくことが証明された。また、チャンクが外国語学習でも非常に重要な役割を果たすことが分かってきた。しかし、成人学習者は記憶よりも分析的、認知的能力により多く依存する。従って、チャンクを外国語学習に活用するためには、適切な指導が不可欠である。この講演では、チャンクの役割に関する最新の研究状況をまとめ、第二言語習得にとっての可能性を示す。



Karin Aguado氏 プロフィール

Karin Aguado教授（カッセル大学）は、外国語としてのドイツ語教育における実証的研究の第一人者です。研究領域は実証的な第二言語習得から異文化コミュニケーショントレーニングや大学生の複言語・複文化能力養成まで多岐に渡り、積極的な活動を展開されています。

- ・日時：2012年3月28日（水）15:00～17:00
- ・会場：慶應義塾大学 日吉キャンパス
第3校舎 2階 325教室
- ・後援：日本独文学会 ドイツ学術交流会
事前予約・参加費不要（どなたでも参加できます。）
資料等はデータで配布しますので、USBメモリーフラッシュをご持参ください。

・お問い合わせ：慶應義塾大学外国語教育研究センター
Tel:045-566-1031 E-mail: flang@info.keio.ac.jp